



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月12日

上場会社名 株式会社豆蔵デジタルホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 202A URL <https://www.mamezo-dhd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中原 徹也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 泉 健憲 TEL 03-6258-1134  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,837	8.0	1,449	5.0	1,427	2.3	947	3.4
2024年3月期第3四半期	7,255	—	1,380	—	1,394	—	916	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 947百万円 (3.4%) 2024年3月期第3四半期 916百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.11	57.75
2024年3月期第3四半期	57.28	—

- (注) 1. 当社は、2023年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 当社は、2024年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2025年3月期第3四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,915	2,923	74.6
2024年3月期	3,543	2,261	63.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,922百万円 2024年3月期 2,261百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.44	—	4.35	26.79
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	59.58	59.58

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、2024年3月期については、当該株式併合前の配当金の額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,552	10.1	2,071	15.1	2,050	12.7	1,366	17.8	85.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	16,050,000株	2024年3月期	16,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	－株	2024年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	16,034,364株	2024年3月期3Q	16,000,000株

（注）当社は、2024年4月15日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 3「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、国内経済は緩やかな景気回復を見せる一方で、国際情勢や金融市場の不安定な動きなどの影響によって、先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループが属する情報サービス業界における2024年度のIT予算の予測については、一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会が実施した「企業IT動向調査2024」等の資料から、2023年度に引き続き全般的には高水準な予算が維持されているものと当社では判断しており、企業IT投資の目的としては、DX（注1）を活用した業務改善およびビジネスの創出・変革が重要視されていると当社では考えております。

このような市場環境のもと、当社グループは「CREATE THE FUTURE TOGETHER～AIソフトウェア工学のチカラで、共にデジタル世界を創造する～」をミッションに掲げ、技術力という武器を十分に活用しつつ、グループ各社の資産や組織能力を深化させ、最新のコンピュータ技術を駆使し、情報サービス関連事業を通じてお客様企業の業務を変革するサービスの提供を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において売上高は7,837,614千円（前年同期比8.0%増）、営業利益は1,449,590千円（前年同期比5.0%増）、経常利益は1,427,479千円（前年同期比2.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は947,794千円（前年同期比3.4%増）となりました。

当社グループは情報サービス関連事業の単一セグメントですが、サービス区分別の経営成績は次の通りであります。

#### （クラウドコンサルティング）

当第3四半期連結累計期間は、一般事業法人向け基幹システム刷新にかかる基盤構築案件や新人教育案件、ERP（注2）の導入支援サービスなど事業を積極的に展開しており、その結果、売上高は2,712,890千円（前年同期比0.3%増）、売上総利益は915,859千円（前年同期比3.7%減）となりました。

#### （AIコンサルティング）

当第3四半期連結累計期間は、主に、DX人材育成、AI（注3）システム開発支援、データ利活用基盤構築や生成AI導入コンサルティングの領域において、コンサルティング案件を主軸として順調に推移し、その結果、売上高は574,943千円（前年同期比10.0%増）、売上総利益は200,826千円（前年同期比0.7%減）となりました。

#### （AIロボティクス・エンジニアリング）

当第3四半期連結累計期間は、ロボット導入による自動化の開発支援サービス、自動車分野のソフトウェア内製化に向けた人材育成、及び開発支援に関するコンサルティング案件が好調に推移し、その結果、売上高は1,363,822千円（前年同期比30.2%増）、売上総利益は420,640千円（前年同期比17.4%増）となりました。

#### （モビリティ・オートメーション）

当第3四半期連結累計期間は、車載システムの企画コンサルティングや開発に関する案件のほか、自動車業界、船舶業界などの製品開発支援案件、及び工場自動化に関する案件の受注が好調に推移し、その結果、売上高は3,185,958千円（前年同期比6.9%増）、売上総利益は1,030,386千円（前年同期比12.2%増）となりました。

- （注）1. DX：Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
2. ERP：Enterprise Resource Planningの略。経営資源の有効活用の観点から企業全体を統合的に管理し、経営の効率化を図るための手法・概念のこと。転じて、これを実現するための統合型（業務横断型）ソフトウェア（統合基幹業務システム）を「ERPパッケージ」もしくは「ERP」と呼ぶ。
3. AI：Artificial Intelligenceの略。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する、様々な技術・ソフトウェア・コンピュータシステムのこと。

それぞれのサービス区分の内容は以下の通りとなります。

サービス区分	事業の内容
クラウドコンサルティング	幅広い業種の大手企業に対して、クラウドをはじめとする最先端技術を活用した内製化推進コンサルティング、ERP導入、教育サービス等をご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵、株式会社エヌティ・ソリューションズ
AIコンサルティング	デジタルトランスフォーメーションを推進する企業に対して、AIを活用したデータ利活用、システムの企画、設計、アルゴリズムの開発およびコンサルティング、生成AI導入支援サービスをご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵
AIロボティクス・エンジニアリング	自動車・ロボット等の組込系システムを扱う企業に対してAIソフトウェア開発の技術導入支援、モデルベース開発（MBSE）、プロセス改善等のコンサルティング及び開発をご提供しています。 対象会社：株式会社豆蔵
モビリティ・オートメーション	自動車・航空宇宙・船舶分野に関連したAIソフトウェア・ハードウェアの開発支援並びに教育サービス、ファクトリーオートメーション実現に向けたコンサルティングをご提供しています。 対象会社：株式会社コーワメックス

## （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は3,915,424千円となり、前連結会計年度末に比べ372,192千円増加いたしました。流動資産は330,567千円増加、固定資産は41,624千円増加しております。主な要因は流動資産においては現金及び預金が554,945千円増加、売掛金が62,084千円増加、契約資産が74,557千円増加の一方、未収還付法人税等が237,827千円減少、流動資産その他が78,009千円減少、固定資産においては建設仮勘定が100,805千円増加、ソフトウェアが27,117千円減少、繰延税金資産が76,146千円減少及び投資その他の資産その他が56,088千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は992,340千円となり、前連結会計年度末に比べ289,030千円減少いたしました。主な要因は流動負債において未払法人税等が198,793千円減少、賞与引当金が112,493千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,923,084千円となり、前連結会計年度末に比べ661,222千円増加いたしました。これは公募により資本金、資本剰余金がそれぞれ30,714千円増加、利益剰余金が599,794千円増加したことによるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高、利益とも計画どおりに推移しておりますので、連結業績予想に変更はありません。

なお、当連結業績予想につきましては、同資料の発表時点において当社が入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	828,367	1,383,312
受取手形	7,190	—
売掛金	1,173,126	1,235,210
契約資産	18,234	92,792
製品	11,870	11,870
仕掛品	33,712	11,788
原材料	53,990	37,922
未収還付法人税等	237,827	—
その他	234,674	156,664
流動資産合計	2,598,993	2,929,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	82,043	100,654
機械及び装置（純額）	109,281	72,981
工具、器具及び備品（純額）	21,648	24,666
リース資産（純額）	—	2,777
建設仮勘定	218,122	318,928
有形固定資産合計	431,095	520,008
無形固定資産		
ソフトウェア	112,330	85,212
その他	1,468	1,356
無形固定資産合計	113,799	86,569
投資その他の資産		
繰延税金資産	215,942	139,795
その他	183,402	239,490
投資その他の資産合計	399,344	379,285
固定資産合計	944,239	985,863
資産合計	3,543,232	3,915,424

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	135,723	142,990
リース債務	—	666
未払金	138,540	98,766
未払費用	146,600	197,936
未払法人税等	326,945	128,151
未払消費税等	181,319	163,199
賞与引当金	242,616	130,122
受注損失引当金	1,652	—
その他	99,857	119,892
流動負債合計	1,273,255	981,726
固定負債		
リース債務	—	2,444
資産除去債務	6,633	6,740
その他	1,481	1,428
固定負債合計	8,114	10,613
負債合計	1,281,370	992,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	130,714
資本剰余金	500	31,214
利益剰余金	2,161,135	2,760,929
株主資本合計	2,261,635	2,922,858
新株予約権	226	226
純資産合計	2,261,862	2,923,084
負債純資産合計	3,543,232	3,915,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	7,255,512	7,837,614
売上原価	4,824,975	5,269,900
売上総利益	2,430,536	2,567,713
販売費及び一般管理費	1,050,386	1,118,123
営業利益	1,380,149	1,449,590
営業外収益		
受取利息	15,628	22
助成金収入	198	5,612
その他	1,902	526
営業外収益合計	17,728	6,161
営業外費用		
支払利息	353	333
上場関連費用	2,000	25,406
その他	541	2,532
営業外費用合計	2,894	28,272
経常利益	1,394,983	1,427,479
特別損失		
固定資産除却損	292	7,896
特別損失合計	292	7,896
税金等調整前四半期純利益	1,394,691	1,419,583
法人税、住民税及び事業税	421,939	395,642
法人税等調整額	56,318	76,146
法人税等合計	478,257	471,789
四半期純利益	916,434	947,794
親会社株主に帰属する四半期純利益	916,434	947,794



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自2023年4月1日 至2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自2024年4月1日 至2024年12月31日）
四半期純利益	916,434	947,794
四半期包括利益	916,434	947,794
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	916,434	947,794

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

当社グループの事業内容は情報サービス関連事業のみであり、区分すべき事業セグメントは存在しません。従って報告セグメントも単一であるため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

当社グループの事業内容は情報サービス関連事業のみであり、区分すべき事業セグメントは存在しません。従って報告セグメントも単一であるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月27日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。この上場にあたり、2024年6月26日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式50,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ30,714千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が130,714千円、資本剰余金が31,214千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	75,249千円	60,884千円